

毛呂山小学校北側より毛呂駅方面を望む写真 (昭和53年1月1日)(杉田幸夫さん提供)

まだ毛呂山小学校沿いの道には、図書館や家もなく、毛呂山小学校か ら、八高線の線路が見渡せます。小学校の校庭からは、走る電車がよく 見えました。

集中

昭和50年代ごろまでの昔 の写真を募集しています。 提供いただける方は、役場 秘書広報課広報広聴係☎ (295) 2112内線332 までご連絡ください。

後然歲時記

ねんねこに 埋めたる頬に 櫛落つる 高浜虚子



11月も下旬になると、気温がぐっと下がり、ストーブや こたつの準備をしたり、コートやマフラーなどの防寒具を 取り出して、本格的な冬支度がはじまります。

そうした防寒具のひとつに、「ねんねこ半纏」というも のがありました。羽織に似た綿入れの上っ張りで、幼児を 背負うとき上からかぶせて着ました。

「ねんねこ」という言葉は、眠ることを意味する幼児語 「ねんね」に接尾語「こ」がついたもので、子守歌は「ね んねこ歌」とも呼ばれます。古くは狂言の歌謡にも「ねん ねこ、ねんねこ、ねんねこや、目だに(目さえ)覚むれば、 ちょちちょち、あわわ」とありました。大正10年に北原白 秋が作詞した「揺籃の歌」という「眠らせ歌」にも、「揺 籃のうたを カナリアが歌うよ ねんねこ ねんねこ んねこよ・・・」と歌われています。

ねんねこ半纏は、今ではほとんど見ることがなくなりま したが、母に背負われたあたたかいぬくもりや、そこで聞 いた子守歌を、木枯らしが吹くころに、なつかしく思い出 す人もいるのではないでしょうか。

編) 寒がりな私には、つらい季節が近づいてきました。取材で 集 たくさん外に出れば、寒さに慣れるかもしれないと思ったの

ですが、去年は「そんな厚着じゃ、鍛えられないよ」といわ (後)

記 れる始末。今年は、頑張って薄着で過ごしましょうか。でも 寒いんですよね・・・。(M)



太一くん 森澤 (4歳2か月) 友貴くん (1歳9か月)

ゴーオンジャーが 好きな2人。ポーズ

を真似したり、戦いごっこしたり、仲がいい兄弟 だよ。ゴーオン!!



-条 瑠生くん (1歳8か月)

車、電車、じいじ、 ばあば、パパ、ママ、 保育園。大好きなも のに囲まれて、幸せ

いっぱいの瑠生。将来は野球の選手になってほ しいということが、パパの夢です。

■秘書広報課では「わがやのアイドル」を募集中です。

申・問 役場秘書広報課☎(295)2112内線332

広報もろやま 11月20日号 No 819 〒350 - 0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地

■発行 毛呂山町 ■ 1 部当り 34.8円 TEL 049(295)2112 Fax 049(295)0771

■編集 秘書広報課広報広聴係 URL http://www.town.moroyama.saitama.jp

人口 37.162 人 (+ 40 人) 【男18,553人(+23人) 女18,609人(+17人)】 世帯 14,914 戸 (+26 戸) ※平成20年11月1日現在(カッコ)内は前月比

口広報もろやまは、役場ホール、両公民館、図書館、保健センター、教育センター、総合公園体育館、歴史民俗資料館、福祉会館に置いてあります。